

『第5回 うつくしま眼科研究会』のご案内

謹啓 時下先生におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
また平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、下記の要領にて「第5回うつくしま眼科研究会」を開催させて頂く運びとなりました。つきましては、ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご臨席賜りますようご案内申し上げます。

日時：2020年7月4日（土）18:00～20:00

会場：ホテル ハマツ （2F 開成の間）

福島県郡山市虎丸町3番18号

TEL：024-935-1111

会費：1,000円

座長 福島県立医科大学 眼科学講座 教授 石龍 鉄樹 先生

【特別講演Ⅰ】

演題：『眼瞼炎を斬る！』

演者：東邦大学医療センター大森病院

眼疾患先端治療学寄付講座 准教授 いしづち眼科

鈴木 崇 先生

【特別講演Ⅱ】

演題：『関西緑内障道場 緑内障なやみの相談室 福島編』

演者：京都府立医科大学 眼科学教室 講師

森 和彦 先生

※本講演会は、専門医制度認定事業2単位を申請中です。

※講演会終了後、情報交換会を開催いたします。

共催：うつくしま眼科研究会

千寿製薬株式会社

後援：福島県眼科医会

『第5回 うつくしま眼科研究会』

『眼瞼炎を斬る！』

東邦大学医療センター大森病院 眼疾患先端治療学寄付講座 准教授 いしづち眼科
鈴木 崇

眼瞼炎や麦粒腫など、眼瞼におこる炎症性の疾患は、日常の眼科診療において、よく遭遇するが、症状や臨床所見は多岐にわたっており、確実な診断をすることが難しいこともある。まず、感染性か、非感染性かを見極めて、細菌などの微生物が関連している眼瞼疾患では、特徴的な所見を見逃さずに、診療する必要がある。特に、その炎症の首座が、眼瞼皮膚、前部眼瞼、後部眼瞼のどこにあるかを確認し、その場所に移行し、かつ原因菌に感受性のある抗菌薬やドラッグデリバリーを考慮しなければならない。そのためには、丁寧にスリットで観察し、病態を推測する必要がある。また、多くの細菌感染が関連する眼瞼疾患は、不潔によって生じることが多いため、治療ならびに予防のために、眼瞼をきれいに保つ清拭を行うことも重要で、患者さんにしっかり指導しなければならない。さらに、非感染性の場合は、アレルギーや乾燥などが原因であり、その原因別の治療方針を考慮する必要がある。本講演では、「眼瞼炎を斬る」と題して、眼瞼炎の病態や診断・治療について解説する。

『関西緑内障道場 緑内障なやみの相談室 福島編』

京都府立医科大学 眼科学教室 講師 森 和彦

関西緑内障道場は、京阪神の大学および関連施設の中で緑内障に興味を持つ自称若手眼科医有志が集まり、2002年11月の臨眼インストラクションコースにおいて旗揚げしました。基本的には年2回、手術学会と臨床眼科学会のインストラクションコースにおいて総合的な緑内障診断および治療の道を究める努力をしてきました。その中では何度か「なやみの相談室」と題した症例検討会を行っていますが、これは対応に苦慮した症例を呈示し、外来時や術後に遭遇する悩みに対して解決の成否を告白する実践的な形式とし、経験を共有することによって類似症例にも迅速な対応が可能になることを目的としていました。

本講演でも過去に道場の「なやみの相談室」で紹介させていただいた興味深い症例のみならず、診断や治療において何らかの悩みがあって紹介されてきた症例を呈示し、道場もしくは当科においてその悩みに如何に対処したか、またはできなかったかを正直に告白、ご参加の皆様と共有したいと思います。

道場の3つの掟、1) 明るく楽しく緑内障を学ぶべし、2) 道場内は建前ではなく本音で語るべし、3) 患者から学ぶ姿勢を大切にすべし、を基本に、福島国への出稽古、宜しく願い申し上げます。